

取扱説明書

株式会社 ケンウッド Kenwood Corporation

B61-1306-00 (FPG)

ご購入いただきましてありがとうございます。

製品の取り付け、接続は専門技術と経験が必要です。取り付け、接続は安全のために、必ずご購入の販売店または専門の業者に依頼してください。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全上・使用上の注意を守り、製品を正しくお使いください。

お読みになった後も取扱説明書は大切に保管してください。車両の取扱説明書と一緒に保管されることをお勧めします。

この説明書の中で、**警告** **注意** のマークが付いている箇所は特に大事なこと、最も重要なポイントです。この部分は特にしっかりとお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、2 ページ「安全上のご注意」を取り付け、接続作業を始める前、および使用する前によくお読みください。

取り付け、接続のしかたの説明でおわかりになりにくいところがありましたら、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、12 ページ「保証書とアフターサービス」の下に記載してありますのでご参照ください。

■ 使用上の注意

- エンジンをお止めた状態で使用しない。▶ バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- センターユニットのトーンコントロール、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎて使用しない。また、グラフィックイコライザーで低音域を上げ過ぎて使用しない。▶ サブウーファーに過大な負荷が加わり、故障の原因となります。
- サブウーファー本体、リモコンを固い布やシンナー、アルコール等揮発性のものを使ってふかない。▶ 傷が付いたり文字が消えることがあります。汚れたときは、シリコンクロスまたは軟らかい布でからぶきしてください。

安全運転のために



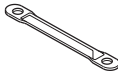

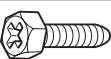
運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。また、カーステレオの操作は停車中に行うようにして、安全運転を心がけてください。






楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。周りへの配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は小さな音でも聞こえやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 必要工具

プラスドライバー、プライヤーあるいはペンチ、電動ドリル、カッターナイフ、ビニールテープ

■ 付属品

No.	部品名	形状	数量
①	ブラケット A		2
②	ブラケット B		2
③	ブラケット C		1
④	小ねじ (M4 × 6)		8
⑤	タッピングねじ (φ 5 × 16)		6

No.	部品名	形状	数量
⑥	10P コネクタ付コード (6m)		1
⑦	エレクトロタップ		4
⑧	マジックテープ (両面テープ付/リモコン用)		1
⑨	リモコン (6m)		1
⑩	RCA コード (0.5m)		1

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



ⓘ 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

**警告：取り付け・接続作業上の注意**

取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する

取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う



取り付け、接続作業は、専門技術と経験が必要です。取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。

取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。

誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。

誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。

この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって発生した事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづける

製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す

取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。

バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート*が起こり、火災の原因となります。

安全な場所に設置する

製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所、車の運転のじゃまにならない場所、急停車等の場合に同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。

安全な場所に取り付けられない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する

製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない

車両に穴を開けて製品を取り付ける場合、ガソリンタンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認のうえ、これらを絶対に傷つけないようにしてください。これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

コードは正しく接続する

スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの ⊖ 側を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない

指定されたもの以外のコードは使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する

車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電やショート*による火災の原因となります。

*ショート 電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が、他のコードや車の金属部に接触した時などに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

**警告：取り付け・接続作業上の注意****電源コードの被覆を切った配線はしない**

電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。ショート*が起り、火災の原因となります。

12V 以外の電源では使用しない

本製品は 12V マイナスアース車専用です。これ以外の電源では使用しないでください。12V マイナスアース以外の電源で使用する、火災の原因となります。電源は車両の取扱説明書で確認してください。

重要保安部品には接続しない

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれ交通事故の原因となります。

ヒューズは規定のものを使用する

ヒューズが切れたときは、接続したコードがショート*していないことを確認後、必ずヒューズボックスなどに表示された規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。

規定容量以外ヒューズを使うと、火災の原因となります。

車両のヒューズを交換するときは、車両の取扱説明書を参照してください。

取り付け、接続後車両の点検を行う

製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

**注意：取り付け・接続作業上の注意****接続コードを引っ張らない**

接続コードのコネクタを外すときは、コードを引っ張らずにコネクタをもって外してください。コネクタにロックがあるものは、ロックを解除して外してください。

直射日光はさける

直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はさけてください。製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

水をかけたりぬらさない

雨が吹き込むところや、水がかかるおそれのある場所への設置はさけてください。コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、不安定な場所をさける

ほこりがかかるところや湿気の多い所、振動の多い場所、ガタつきのある不安定な場所への設置はさけてください。感電、火災やけがの原因となります。

取り付け用部品は子どもの手の届かないところに置く

付属の取り付け用部品には、小さな部品があります。過って飲み込まないように、以下の点を注意してください。

- 取り付け、取り外しを行うときは、子どもの手の届かぬところに部品を放置しないでください。
- 作業後は行方がわからない部品が無いことを、付属品一覧で部品、数量を確認してください。
- 使用しない部品は、子どもの手の届かぬところに保管してください。万一、子どもが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

**警告：取り扱い上の注意****カーステレオの操作は、停車してから行う**

カーステレオの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止

走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続けられない

スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。発熱し、火災の原因となります。

改造しない

改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。点検、修理は販売店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。

異物を入れない

製品の通風孔、開口部から内部にゴミやドライバーなどの工具を落としたり、入れたりしないでください。異物が入ると、ショート*が起こり、感電や火災などの原因となります。

異常が起きた場合は、すぐに使用を中止する

次のような異常がおきた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 音が出ない
- 水がかかった
- 金属や紙などの異物が入った
- 煙りが出る
- 変な音や臭いがする

そのまま使用を続けると、火災、その他の事故の原因となります。異常が起きた場合は、カーステレオの電源スイッチを切り安全を確かめてから、販売店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。

*ショート 電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が、他のコードや車の金属部に接触した時などに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

**注意：取り扱い上の注意****車両以外には使わない**

本製品は車両に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

発熱部には手を触れない

アンプ付スピーカーには、アンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は高温になります。使用中は、スイッチなどの操作部以外には手を触れないでください。放熱器に触れると、やけどの原因となります。

上に乗らない、物を載せない

製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。こわれたり、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。

上に飲料水などの入った容器を置かない

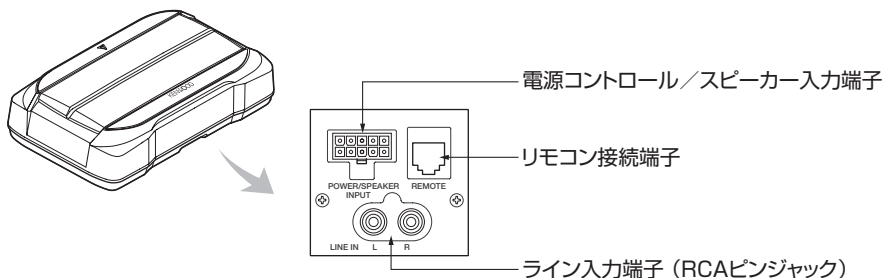
製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

接続のしかた

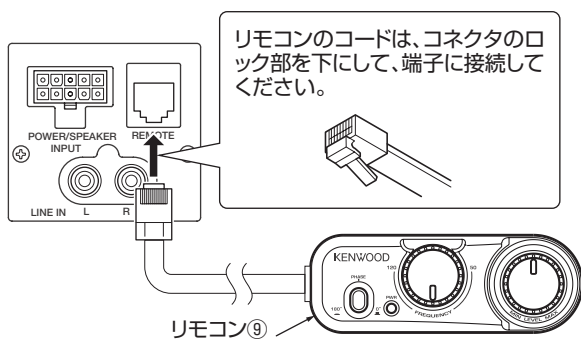
⚠ 注意

接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。すべての接続が終了後、もう一度正しく接続されているか確認してください。確認が終わったあと、バッテリーのマイナス端子のコードを接続してください。

■ サブウーファー本体端子部



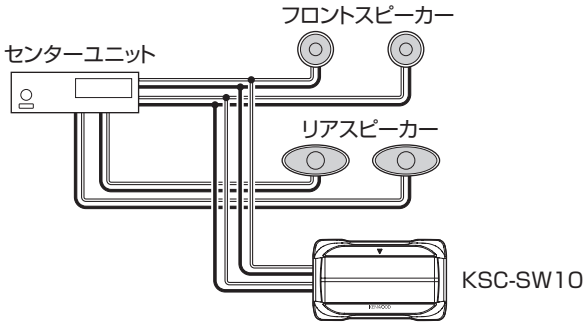
リモコンの接続



接続時の注意

- コードが正しく接続されていない場合、リモコンのパワーインジケータ、本体のイルミネーションは点灯しません。
- リモコンが接続されていない、または正しく接続されていないとサブウーファーから音が出なくなります。
- リモコンはコネクタの上下の向きを間違えて、無理に端子に差し込むと故障の原因となります。

アンプ内蔵センターユニットのスピーカー出力に、サブウーファーを接続する



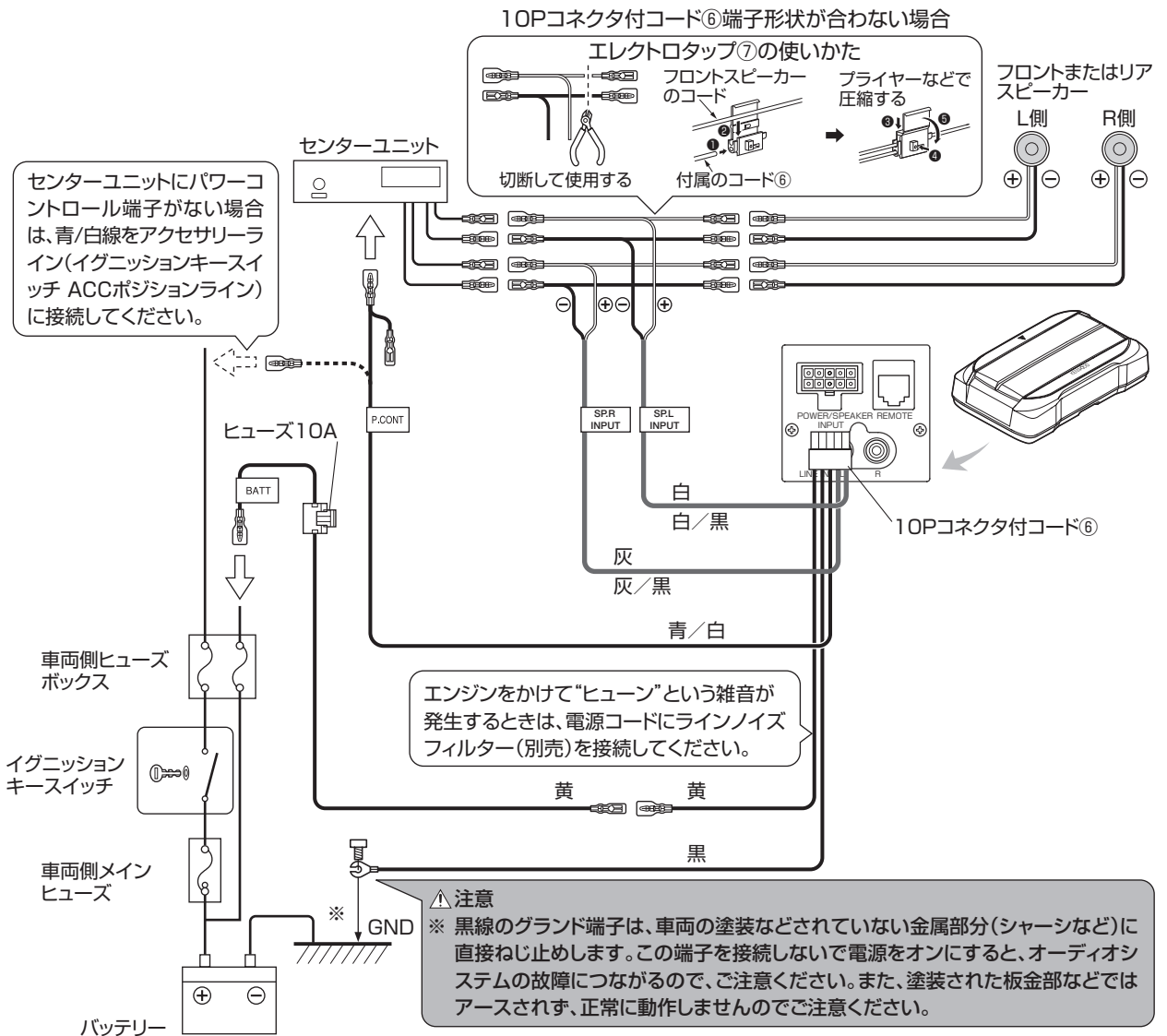
センターユニットのフロント出力コードまたはリア出力コードに、サブウーファーを接続します。

接続時の注意

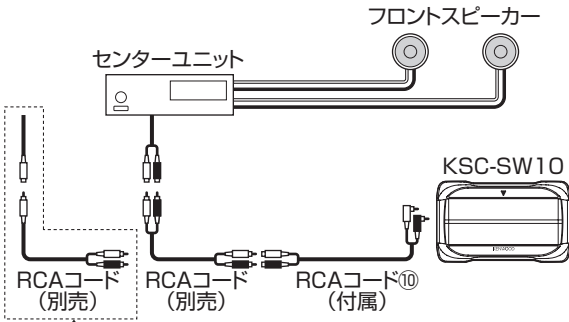
この取扱説明書だけでなく、センターユニットなど接続される機器に付属している取扱説明書もあわせてご参照ください。

■ 接続例

カーステレオをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。



センターユニットのサブウーファー（ノンフェーダー）出力に、サブウーファーを接続する



センターユニットのサブウーファー出力（ノンフェーダー出力）または RCA 端子のフロント出力に、サブウーファーを接続します。


接続時の注意

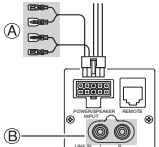
- この取扱説明書だけでなく、センターユニットなど接続される機器に付属している取扱説明書もあわせてご参照ください。
- 別売の RCA コードをご用意ください。付属の RCA コード⑩は、サブウーファーと別売の RCA コードの接続にご使用ください。
- DSP 付センターユニットは、サブウーファー出力（ノンフェーダー出力）または RCA 端子のフロント出力に接続してください。RCA 端子のリア出力に接続すると DSP 効果で低音再生効果が減少する場合があります。

センターユニットの出力が1つのRCA端子の場合は、図の様な2つのRCA端子に変換するRCAコードを使用してください。上記の変換コードを使用しないと、サブウーファーの出力が半分になります。

■ 接続例

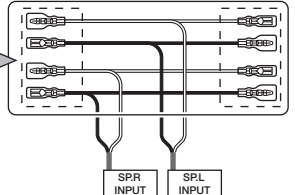
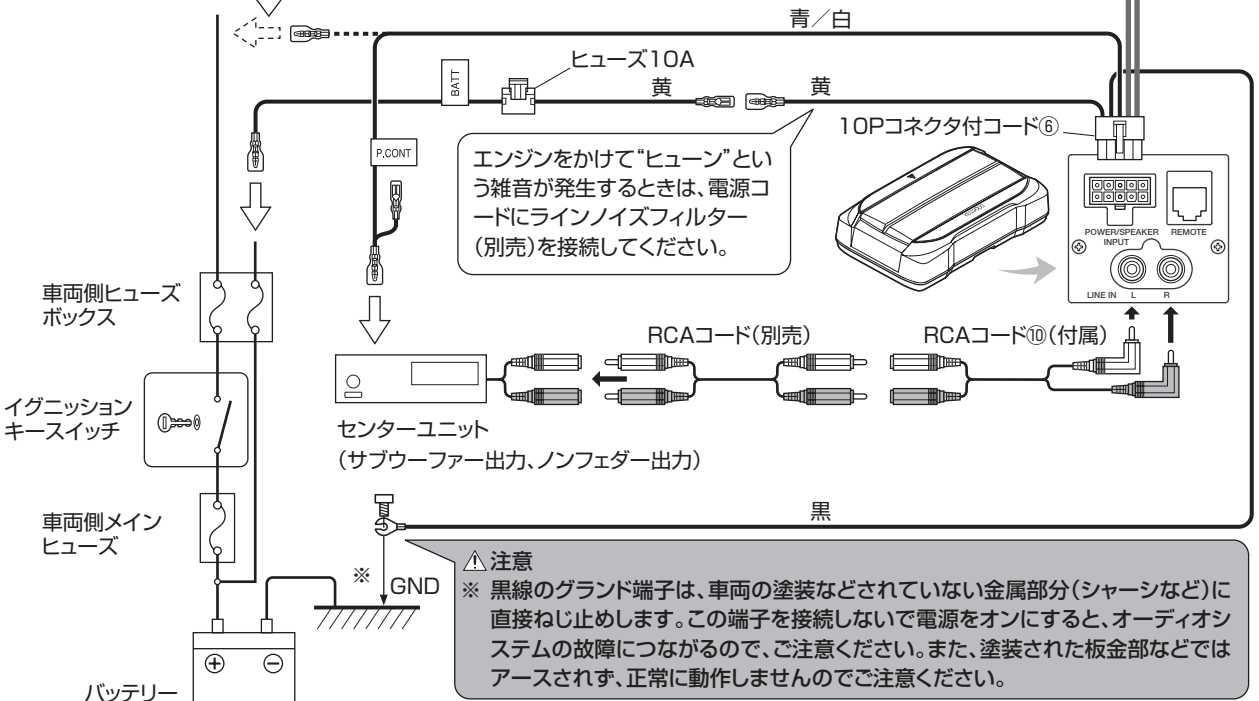
カーステレオをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。

注意
 ①と②の入力端子（の部分）を同時に接続しないで下さい。アンプやスピーカーの故障の原因となります。



センターユニットにパワーコントロール端子がない場合は、青/白線をアクセサリライン（イグニッションキースイッチ ACCポジションライン）に接続してください。

注意
 不使用端子はショート防止のため絶縁テープをまいて保護してください。

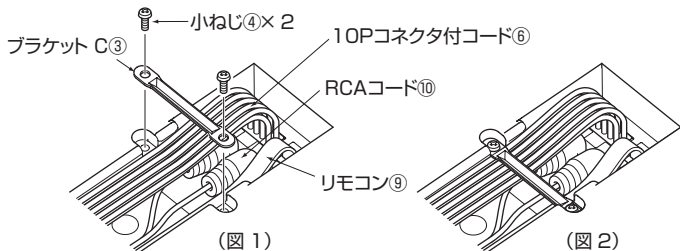
取り付けかた

サブウーファーを固定する前に、音の確認を行います。サブウーファーの置き場所、向きをかえたりして、よりよい音質、音場になるようにします。

⚠ 注意

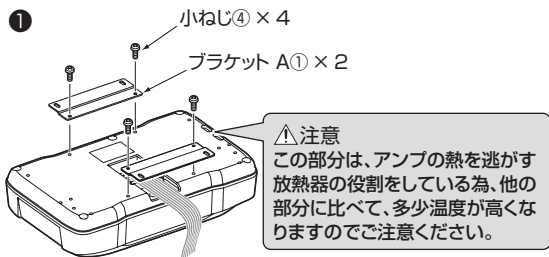
- 運転および乗降、車内の移動のときにじゃまにならない場所に設置してください。
- 走行中の振動や衝撃で、製品が動かないようにしっかりと固定してください。

■ コードの固定のしかた

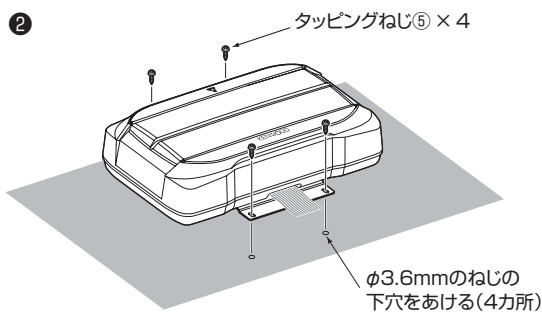


- ① 本体に10Pコネクタ付コード⑥、RCAコード⑩（接続方法により不要です）、リモコン⑨を接続します。（図1）
（接続するコードは接続システムにより異なります。6、7ページ参照）
（センターユニットのスピーカー出力に接続する場合は、RCAコード⑩は不要です。）
- ② 接続したコードを本体にブラケットC③で挟み、小ねじ④で固定します。（図2）

■ サブウーファー本体の固定のしかた 横置きに取り付ける場合



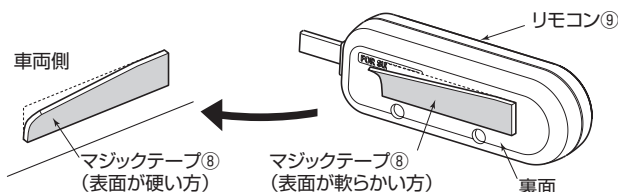
ブラケットA①を本体に小ねじ④を使用して取り付けます。
このとき、本体とブラケットA①で接続したコードを挟み込まないようにご注意ください。



車両の板金部分にφ3.6mmのねじの下穴をあけます。
タッピングねじ⑤を使用して、本体を車両に取り付けます。

■ リモコンの固定のしかた

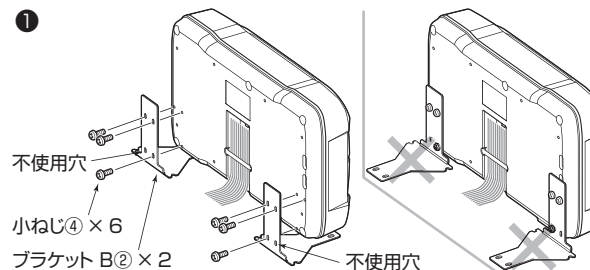
貼る場所の汚れをよく落してから、付属のマジックテープ⑧を使って車両に取り付けます。



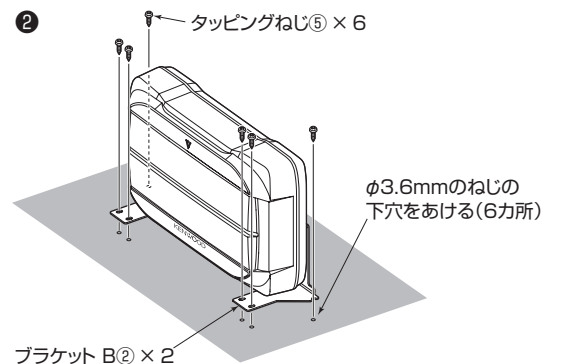
⚠ 注意

- 運転のじゃまにならない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に固定してください。
- 直射日光が当たる場所やヒーターの熱風が直接当たる場所は避けてください。製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

縦置きに取り付ける場合



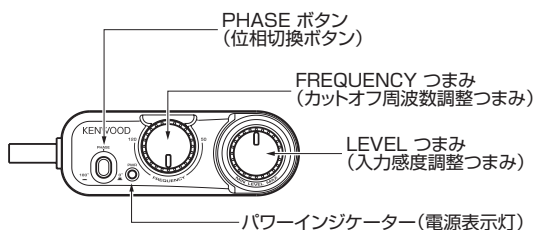
本体がガタつかないように、取り付け位置（高さ）を調節して、ブラケットB②を本体に小ねじ④を使用して取り付けます。



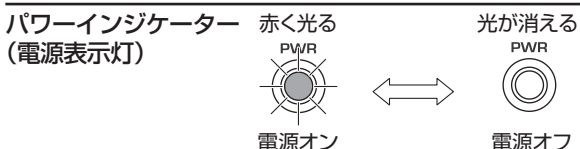
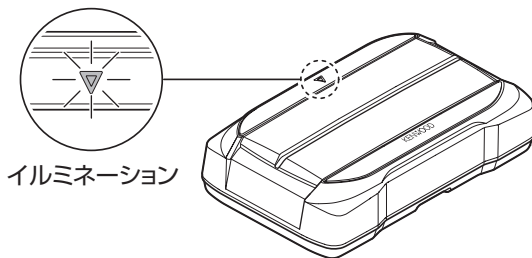
車両の板金部分にφ3.6mmのねじの下穴をあけます。
タッピングねじ⑤を使用して、本体を車両に取り付けます。

操作のしかた

■ 各部のなまえ (リモコン)



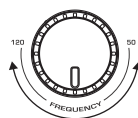
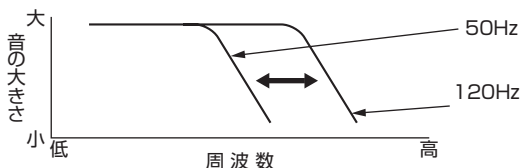
本体のイルミネーションは、リモコンのパワーインジケータに連動して点灯します。



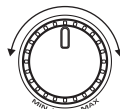
■ 音の調整のしかた (リモコンでの操作)

① FREQUENCY つまみをまわして、カットオフ周波数 (高域をカットする周波数) を調整します。

リアスピーカーから出ている低音と、本機の低音のバランスがよい位置に設定します。



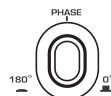
② LEVEL つまみをまわして低音レベルを調節し、好みの音量に設定します。



③ 低音の位相をかえてみる

サブウーファーの置き場所とカットオフ周波数の関係で、低音の聴こえ方が位相の切換によってかわることがあります。PHASE ボタンで位相を切り換えて、低音がよく聴こえる方に設定します。

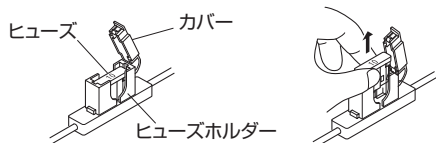
[0°]は正相、[180°]は逆相です。



ヒューズ交換のしかた

指定容量のヒューズを交換します。

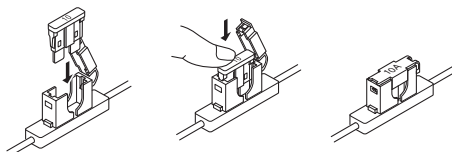
抜き方



- ① カバーを開けます。
- ② ヒューズを指でつまんで、上に引っぱります。

差し込み方

交換ヒューズ:10A



- ① ヒューズをヒューズホルダに軽く入れて、指で完全に押し込みます。
- ② カバーを閉めます。

⚠ 注意

必ずヒューズに表示された規定容量 (アンペア数) のものと交換してください。本製品は 10A です。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障とおもわれることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない (パワーインジケータが点灯しない)	ヒューズが切れている。	● コードの (+) (-) 接続確認とコード類がショートしていない事を確認後、指定容量のヒューズと交換してください。 ● 接続例 (⇒ P7、8) を見て正しく接続してください。
	リモコンのコードが抜けている。	● コードをリモコン接続端子に接続してください。
	10P コネクタ付コードの電源用端子 (黄色) が接続されていない。	● 接続例 (⇒ P7、8) を見て正しく接続してください。 ● すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの (-) 側コードを接続してください。
	10P コネクタ付コードのパワーコントロール用端子 (青/白色) が接続されていない。	● 端子を奥まで確実に差し込んでください。
	10P コネクタ付コードのコネクタの差し込み不完全。	● GND (グラウンド) 用端子を車両の金属部 (塗装面は不可) に確実にねじ止めしてください。
	10P コネクタ付コードの GND (グラウンド) 用端子 (黒色) が接続されていない。	
車のバッテリーの (-) 側コードが外れている。	● すべてのコードの接続を確認後、バッテリーの (-) 側コードを接続してください。	
音が出ない	センターユニットのアッテネーターが ON になっている。	● アッテネーターを OFF にしてください。
	LEVEL (入力感度) のつまみが MIN (最小) になっている。	● 音量を適度に上げてください。(⇒ P10)
	スピーカーコードが間違っていて接続されている。	● 接続例 (⇒ P7) を見て正しく接続してください。
	接続端子の接続不良。	● 端子を奥まで確実に差し込んでください。
	リモコンのコードが抜けている。	● コードをリモコン接続端子に接続してください。
音が小さい	入力感度が低く設定されている。	● LEVEL (入力感度) のつまみをまわし、適正音量に設定してください。
音質が悪い (音が歪む)	入力感度が高く設定されている。	
音が不自然	スピーカーコードの (+) (-) 接続が合っていない。	● 接続例 (⇒ P7、8) を見て正しく接続してください。
	10P コネクタ付コードの GND (グラウンド) 用端子 (黒色) の接触不良。	● GND (グラウンド) 用端子を車両の金属部 (塗装面は不可) に確実にねじ止めしてください。
	フロントスピーカー又はリアスピーカーとのバランスがとれていない。	● 位相切換ボタンを 0° または 180° に切り換えて音質のバランスをとってください。(⇒ P10)

定格

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更することがあります。

形式：アンプ内蔵、据置型サブウーファーシステム

【アンプ部】

最大出力 150 W
 周波数特性 (システム) 35 ~ 120 Hz
 S / N 比 85 dB
 カットオフ周波数切換 50Hz ~ 120 Hz
 フェイズ切換 0° , 180°
 定格入力レベル / 入力インピーダンス
 ライン入力 50 mV / 15 k Ω
 スピーカー入力 1000 mV / 2.2 k Ω
 電源 DC14.4 V
 (動作範囲 10.5 ~ 16 V)
 最大消費電流 8 A
 ヒューズ容量 10 A

【キャビネット部】

方式 パッシブラジエータ型
 材質 / 仕上
 上ケース ABS 樹脂 / 塗装
 下ケース アルミダイカスト / 塗装

【スピーカー部】

ウーファー 120 × 180 mm コーン
 パッシブラジエータ 120 × 180 mm コーン

外形寸法

幅 369 mm
 高さ 94 mm
 奥行 224 mm
 本体質量 3.4 kg

保証書とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社では、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店、または添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

11ページの“故障かな？と思ったら”に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

保証期間内でも、この取扱説明書に記載された注意事項を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は

保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組

有料修理の場合は、次の料金をいただきます。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

お買い上げ店名

年 月 日

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 電話 (0570) 010-114 (ナビダイヤル)
携帯電話・PHS・IP 電話でのご利用は電話 (045) 933-5133
受付日 月曜日～土曜日（祝祭日及び当社休日を除く）
受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00、土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30
〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2 FAX (045) 933-5553
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口、各営業所にご相談ください。